

【全体概要】

富山県は主穀作に特化した農業構造となっており、米価が低迷する中で主穀作経営体の体質強化に向け、野菜生産を組み込んだ経営の複合化を推進しているところである。しかしながら、北陸地域特有の冬期間の積雪などの気象条件から、作業時期や収益を得られる期間が限られ、野菜複数品目の組み合わせや新たな作型の開発による輪作体系の確立と収益の更なる向上が課題となっている。そこで、機械化一貫体系や主穀作経営の労働時間の平準化を踏まえ、複数品目の組み合わせや同一品目において新たな作型の開発を進め、主穀作経営の収益向上を推進する。

新品種・新技術等の概要

●たまねぎ

(1)「初夏どりたまねぎ」の機械化に適した

加工用品種の検討

(2)加工用たまねぎの省力的乾燥、調製方

法の検討



図1 たまねぎ省力的乾燥方法

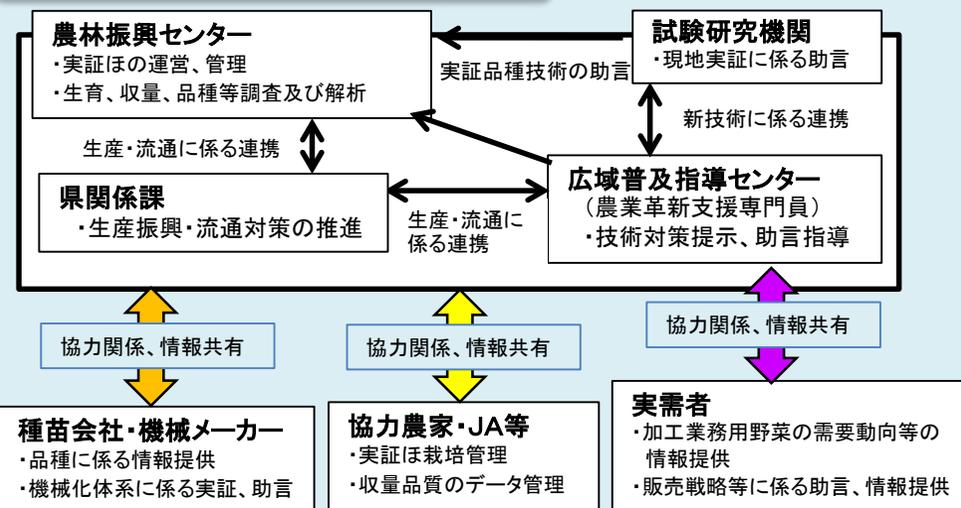
●キャベツ

(1)「秋播き春どりキャベツ」品種の検討



図2 キャベツ品種比較

実施体制図



主な取組内容

【実証ほの設置】

- ・初夏どり加工用たまねぎ及び秋播き春どりキャベツの品種比較試験実証ほの設置

【検討会の開催】

- ・実証ほ設置検討会、実証結果検討及び実需者との意見交換会の開催

【生産性向上・経営改善効果分析】

- ・「初夏どりたまねぎ」、「秋播き春どりキャベツ」導入への経営改善効果の分析

【先進地視察】

- ・安定生産技術にかかる県外先進地調査の実施

実績と今後の展開

●たまねぎ

- ・加工用品種の検討の結果、有望とされた「ターザン」は、県内の主力品種となっている。
- ・省力的乾燥、調製方法の検討の結果、有効性が確認できた「簡易型強制通風乾燥システム」と「タッピングセレクター」について、今後、研修会等で紹介し、普及拡大を図る。

●キャベツ

- ・秋播き春どり品種の検討の結果、有望とされた「錦恋」等については、富山市や小矢部市等で導入が見られる(「錦恋」導入面積 H29:10a → R1:30a)
- ・今後、研修会等で紹介し、普及拡大を図る。